

## 令和3年度の業績

令和3年度の我が国経済は、度重なる新型コロナ変異株の出現・流行により緊急事態宣言等が発令されたことで、個人消費の回復が緩慢となったことに加え、ウクライナ情勢の緊迫化等を受けて、景気は持ち直す様相を見せつつも、回復力は力強さを欠きました。

こうした情勢下におきましては、当会では、取引メイン化の徹底や調達コストの適正化等を踏まえた

県下 J A からの受入れに取り組みました。また、貸出金については、資本効率の適正化を踏まえた貸出資産の積上げに取り組み、また、余裕金につきましては、投融資の多様化や国際分散投資の拡大を図るとともに、中長期的な収益の安定化やリスク低減に努めました。このような取組みとともに徹底した業務効率化・生産性向上に取り組んだ結果、当期剰余金は114億円となりました。

### ■ 貯 金

県下 J A をはじめとする会員を中心に期中694億円減少し、期末残高は7兆9,939億円となりました。

### ■ 内国為替

送金・振込および代金取立は、仕向の取扱件数が322,990件、取扱金額が1兆463億円、被仕向の取扱件数が96,344件、取扱金額が6,928億円となりました。

### ■ 損 益

経済・金融情勢の変化に合わせて資金を効率的に運用したことに加え、諸経費の節減・合理化にも努めた結果、当期剰余金として114億円を計上することができました。

### ■ 融 資

会員以外への貸出を中心に期中326億円減少し、期末残高は4,769億円となりました。

また、受託貸付金については、日本政策金融公庫等の取扱いが減少したこと等により、期中26億円減少し、期末残高は320億円となりました。

### ■ 余裕金運用

預け金は期中2,294億円減少し、期末残高は4兆4,485億円となりました。

また、有価証券については、国債等が減少したものの、受益証券が増加したことに伴い、期中350億円増加し、期末残高は3兆867億円となりました。

## 主要な経営指標の推移

(単位：百万円、口、%)

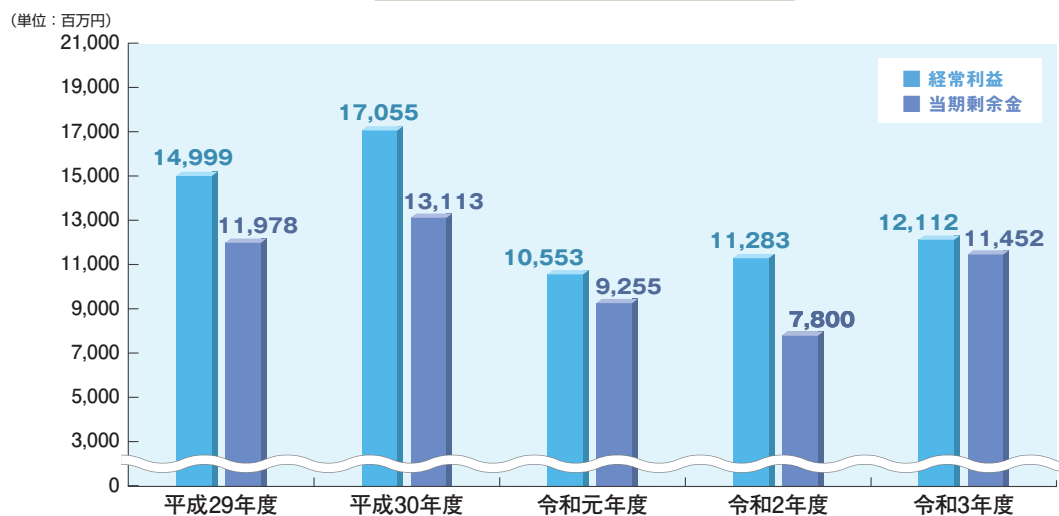
項 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経 常 収 益	75,352	79,304	72,814	77,067	68,960
経 常 利 益	14,999	17,055	10,553	11,283	12,112
当 期 剰 余 金	11,978	13,113	9,255	7,800	11,452
出 資 金	198,402	209,402	220,402	231,402	242,402
( 出 資 口 数 )	(19,840,240)	(20,940,238)	(22,040,238)	(23,140,238)	(24,240,237)
純 資 産 残 高	453,524	486,186	471,962	497,029	458,086
総 資 産 残 高	8,221,765	8,601,528	8,717,452	8,807,038	8,615,894
貯 金 残 高	7,484,501	7,814,638	7,965,214	8,063,417	7,993,964
貸 出 金 残 高	592,752	544,777	538,223	509,688	476,994
預 け 金 残 高	4,132,950	4,355,498	4,495,391	4,677,996	4,448,518
有 価 証 券 残 高	3,137,680	3,178,826	3,139,312	3,051,759	3,086,775
剰 余 金 配 当 金 額	6,899	6,661	6,306	5,973	8,189
・ 出 資 配 当 の 額	3,238	3,348	3,458	3,585	3,661
・ 事 業 分 量 配 当 の 額	3,660	3,313	2,847	2,387	4,528
自 己 資 本 比 率	19.84	17.78	17.44	17.30	17.76

注1 貯金残高には、譲渡性貯金を含んでいます。

2 自己資本比率は、農協法第11条の2第1項第1号の規定に基づく組合の経営の健全性を判断するための基準に係る算式に基づき算出しております。

3 出資金には、後配出資金を含んでいます。

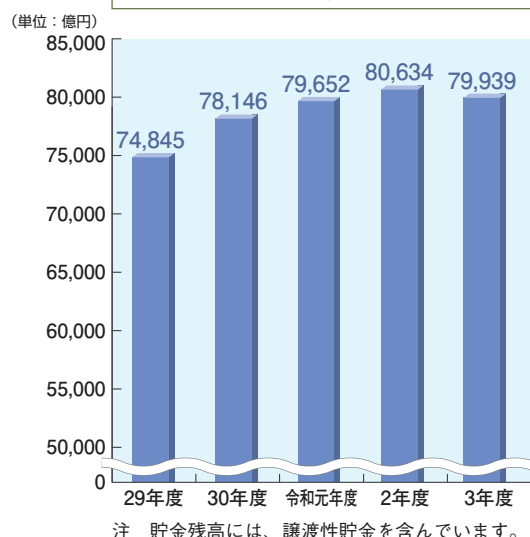
## 利益の推移



## 自己資本・自己資本比率の推移



## 貯金残高の推移



## 貸出金残高の推移



## 有価証券残高の推移



## 農業専門金融機関としての金融仲介機能発揮に向けて

J Aグループでは、令和3年6月に閣議決定された規制改革実施計画において、「自己改革実践サイクル」の構築と着実な実践が求められており、J Aバンクでは、農業者向け事業融資の強化への取組み等、これまで以上に農業専門金融機関としての金融仲介機能発揮の重要性が高まっています。

このような状況の中で、当会では、農業者等の経営課題への対応等を踏まえた円滑な資金供給や、「食」と「農」にかかわる融資取引先等へのビジネスマッチング支援等、農業分野における金融仲介機能の一層の発揮に取り組んでいます。

### 農業経営にかかわる金融負担軽減に資する支援の取組み

農業経営の維持・発展を金融面から支援するため、J Aが融資する農業関係資金のうち、一定の条件を満たす資金を対象に、農業者の金利負担・保証料負担を軽減する事業である利子補給事業および保証料助成事業を実施しています。

【農業経営にかかわる金融負担軽減に資する支援について】

支 援 事 項		令和3年度件数
農業経営にかかわる金融負担軽減に資する支援	① 農業資金の借入れにかかわる利子補給	1,946件
	② 農業資金の借入れにかかわる保証料助成	758件

### 将来の農業の担い手確保にかかわる支援の取組み

地域農業の担い手の減少と高齢化が進む中、将来の農業の担い手確保にかかわる支援として、県中央会と共同で新規就農者向けのセミナーを開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、Web形式でセミナーを開催し、当会および県中央会職員が講師となり、農業融資の活用方法等について講義を行いました。

**新規就農者経営力向上  
WEBセミナー**

**農業経営に必要な確定申告、  
労務管理、農業融資の活用  
の基礎知識を解説**

**申込不要  
受講料無料**  
2021.11.30まで

次のURLまたはQRコードにより、YouTubeから動画をご覧ください。  
※動画は「限定公開」のため、YouTubeなどの検索機能は使えません。

 <p><b>確定申告</b></p> <p>青色申告と白色申告の 記帳の違いから、青色 申告の主な特典と節税 効果を解説。 <a href="https://youtu.be/IE0eErn0s8Y">https://youtu.be/IE0eErn0s8Y</a></p>  <p>再生時間：約20分</p>	 <p><b>労務管理</b></p> <p>従業員を雇うときに 大切な労務関係法令の 基本を解説。 <a href="https://youtu.be/Rx-FhoFKS_U">https://youtu.be/Rx-FhoFKS_U</a></p>  <p>再生時間：約20分</p>	 <p><b>農業融資</b></p> <p>農業融資の活用方法 や設備投資の一般的な 留意事項などを解説。 <a href="https://youtu.be/KVpJIRpppGE">https://youtu.be/KVpJIRpppGE</a></p>  <p>再生時間：約25分</p>
--	--	--

※動画は、令和3年度新規就農者向けセミナー動画の講義となります。

**受講後には、アンケートにご協力をお願いします。**

主催 J A愛知中央会・J A愛知信連

## 農業の担い手への円滑な資金供給に向けた取組み

県内の農業を営む皆様の農業経営をご支援させていただくため、次のとおり農業の担い手の資金ニーズに  
適時・的確に対応する円滑な資金供給に取り組んでいます。

### ① 農業経営課題へのJAグループの総合力の発揮

厳しさを増す農業経営の環境下、農業の担い手が抱える多種多様な経営課題に、JAグループが総合力を結集し、ワンストップで専門的・総合的な対応を行っていくため、他連合会等

と共同設置した「JAグループ愛知担い手総合相談支援室」において、「訪問活動の充実・強化」、「担い手農家の経営改善提案」などに取り組んでいます。

### ② 事業性評価融資への取組み

農業経営のコンサルティングを担うチームのもとで、経営状況や事業成長性の分析等を行う事業性評価に取り組むなど、農業の担い手の経

営に一層寄り添い、適時・的確な金融仲介機能の発揮に努めています。

### ③ 農業経営の相談力強化に向けた取組み

農業経営の相談対応力の強化に向け、農業経営アドバイザー資格(日本政策金融公庫主催)の取得奨励による農業融資担当者の人材育成に取り組んでおり、令和4年3月末での有資格者数

は、72名となりました。また、県下JAの営農担当者等に対しても、県中央会と共同で、農業融資の推進や新規就農者支援の取組み等にかかる研修会を行いました。

## 農業法人に対する多様な資金調達手段の提案

農業法人の皆様への資金調達手段の一つとして、財務の安定化と対外信用力の向上等をご支援するため、アグリビジネス投資育成(株)と連携し、「アグリシードファンド」や「担い手経営体応援ファンド」等による資本供与を提案しています。

農業法人のみなさまへ

### アグリシードファンド

農業者の成長を応援するファンド

●JAバンクでは、農業法人投資育成制度を実施するアグリビジネス投資育成株式会社(以下、アグリビ)と連携し、農業法人のみなさまにとってより活用しやすい資本の提供(議決権のない資本※1、※2)の枠組みをご用意いたしました。

●以下の条件に該当されるお客様は、アグリビによる投資育成制度を活用し、自己資本を増やすことが可能です。(ただし、アグリビによる出資制限があります。※3、※4)

●アグリビの出資金額は10百万円以下、期間10年です。

**基本的な条件**

- 農業法人もしくは農業に関する事業を営む法人であること
- 農業者の成長を応援するファンドの投資対象となること
- 投資金額を年1以上受け付けていること
- 最近の決算において債務超過でないこと(または、5年以内に債務可能な債務超過であること)
- 経営計画は過去3年債務超過でないこと
- 経営者が農業経営者の経験者であること
- 金融機関からの借入金の返済は自前条件と対応していること(自前条件と対応してなくても、債務返済において自前と前倒の返済実行があること) ※5(※6)

※1 投資対象法人については、詳細は別紙をご覧ください。  
 ※2 投資対象法人は、アグリビの投資対象となる法人として、規定についてご確認をお願いいたします。  
 ※3 投資対象の条件については、詳細はアグリビのウェブサイトをご覧ください。  
 ※4 投資対象となる事業の成長を応援するファンドの投資対象となる法人です。  
 ※5 上記条件を満たしていてもアグリビの投資対象となる場合があります。  
 ※6 投資対象となる事業は、アグリビのウェブサイトでご確認ください。

「アグリシードファンド」チラシ

## 融資取引先等へのビジネスマッチング支援の取組み

農業の担い手等の販路拡大をご支援するため、「食」と「農」にかかわる融資取引先等の農産品調達ニーズを的確に捉え、そのニーズに合った取引等の紹介に取り組んでいます。

このビジネスマッチングにおいては、農林中央金庫を始めとするJAグループとの連携を図りながら、ビジネスパートナーを幅広く紹介しています。



ビジネスマッチングの様子

## どんぐりピット合同会社×県下JAおよび農業者とのマッチング支援

農業スタートアップ企業（どんぐりピット合同会社）によるフードロスゼロおよび地産地消を目的としたレトルト食品開発に貢献するため、当会のネットワークを活用し、県下JAおよび農業者へ食材の提供協力を呼びかけ、規格外野菜の調達支援を実施しました。



どんぐりピット合同会社社員(右2人)と当会職員(左2人)によるビジネスマッチングの様子

## 地域農業の振興に向けて

当会は、JAグループ愛知の一員として、農業の担い手の所得向上や農業生産の拡大等に貢献するため、金融仲介機能以外の面においても、地域農業の振興に向けた各種の取組みを行っています。

### 農産物直売所等の利用活性化に向けた取組み

農業者の皆様の所得向上や地産地消の拡大を図るため、より多くの皆様に、県内の農畜産物を販売するJA運営の農産物直売所等をご利用いただけるよう、JAバンクでは、平成29年4月からJAが運営する農産物直売所やグリーンセンター（一部対象外の店舗があります。）でのJAカード利用代金の割引施策を実施しています。

愛知県内では、78か所（令和4年4月1日現在）の農産物直売所およびグリーンセンターが割引対象店舗となり、令和5年3月末まで、店頭でお買い物をされたお客様のJAカードご利用時のお買い物代金について、請求時に5%割引します。



JAカード利用代金割引施策ポスター

### 愛知県産の農畜産物消費拡大に向けた取組み

県下JAでは、愛知県産の農畜産物をより多くの皆様に知っていただき、消費拡大に貢献するため、令和3年6月から10月の期間を対象に「年金振込で愛知県産農畜産物プレゼントキャンペーン」を実施いたしました。

新規で年金をお受け取りいただいたお客様を対象に、抽選で2,000名に、県内産ブランド牛肉または県内産米を進呈しました。



「年金振込で愛知県産農畜産物プレゼントキャンペーン」ポスター

## 農業への理解深耕に向けた取組み

JAバンクあいちでは、「農業メインバンク」として、より多くのお客様に農業の尊さを伝えるため、次の取組みを実施しています。

### ① JAバンクあいちの取組みにかかる広報・PR活動の強化

この地域の農業者や農業に携わる人々が、農業に真摯に向き合う姿を、地域の皆様に広くご理解いただくため、PR活動を実施しています。

「未来が実る、農業へ。」は、JAバンクあいちが地域農業の未来に向け、農業所得向上と地域農業活性化に取り組む姿勢を表現しています。



ポスター掲載イメージ



### ② 小学校等への教材本の贈呈

農業に対する理解を深めていただくため、県内の全小学校等を対象として、食農および環境保全をテーマとした教材本の贈呈に取り組んでいます。

令和3年度では、1,013校の小学校等に対して教材本を贈呈し、教育現場での食農教育を応援しています。



太田代表理事理事長(左)より長谷川県教育委員会教育長(右)へ教材本を贈呈

## 地域からの資金調達・地域への資金供給等の状況

### 地域からの資金調達の状況

県下 J A や関係諸団体をはじめ、地域の皆様から各種貯金をお預かりしており、当会の令和4年3月末の貯金残高は7兆9,932億円となりました。

### 地域への資金供給の状況

県下 J A や関係諸団体へのご融資をはじめ、地域の暮らしや農業者・事業主の皆様に対する円滑な資金供給に努め、令和4年3月末の貸出金残高は、4,769億円となりました。

- 県内農業を営む皆様を金融面から支援させていただくため、県下 J A での対応が難しい農業法人

等の農業の担い手向けの各種金融商品を取り扱っています。

- 台風等の自然災害や家畜伝染病により農業経営に甚大な被害を受けた農業者に対する金融面での復旧支援として「J A バンクあいち農業被害支援利子補給事業」を実施しています。

### 新型コロナウイルス関連肺炎への対応

当会は、新型コロナウイルス関連肺炎の感染拡大を踏まえ、交代制による在宅勤務、時差勤務等の実施により、金融機関としての社会的な機能の維持に努めるとともに、次のとおり被害を受けた方への金融面の支援を実施しています。

新型コロナウイルス関連肺炎により被害を受けた農業者に対する支援として、県下 J A がご融資する「アグリマイティー資金（新型コロナウイルス感染症対策緊急資金）」への利子補給を実施しています。

### 地方公共団体への資金協力等

愛知県債の引受金融機関として資金協力を行うとともに、愛知県、名古屋市の収納代理金融機関として税金等の公金収納事務を行っています。



## トピックス

### 「JAバンクあいち口座開設キャンペーン」の実施

JAバンクでは、令和4年1月から3月の期間を対象に「JAバンクあいち口座開設キャンペーン～大切なおさまの未来に向けて～」を実施しました。

このキャンペーンは、JAで新たに普通貯金口座を開設し、開設月の月末残高が15,000円以上ある0歳から3歳までのお子様を対象に、もれなく1,000円分のデジタルギフトを進呈します。



「JAバンクあいち口座開設キャンペーン」チラシ

### 愛知県下JA信用事業トップセミナーを開催

令和4年2月7日（月）、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて「愛知県下JA信用事業トップセミナー」を開催しました。

このセミナーは、JA信用事業を取り巻く厳しい情勢の中、JAの事業運営の一助となり、JA信用事業の強化に資することを目的に開催しているものです。

当日は、県下JAの組合長をはじめ40名が参加し、令和4年度事業計画の概要の説明、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 副会長 清宮克幸氏による講演会（テーマ：究極の勝利 ～最強の組織とリーダーシップ論～）を行いました。



石黒経営管理委員会会長によるあいさつ



清宮克幸氏による講演

## 社会貢献活動

当会は「JAバンクあいち」の一員として、資金供給などの金融機能の提供により、農業の振興や地域社会の発展に貢献するとともに、社会福祉などに対する貢献活動を通じて豊かでゆとりある地域社会の実現に向けた取組みを行っています。

### 児童養護施設へ愛知県産の果物および新米の寄贈

日本の将来を担う児童の健やかな成長を支援することで児童に食の大切さを伝えるとともに、県内農業の発展に寄与することを目的として、中部善意銀行を通じて県下の全児童養護施設に対し、令和3年7月2日（金）に渥美半島産のメロン456玉、令和3年11月15日（月）に愛知県産の新米10トン（全児童の約1か月分の消費量相当）、令和4年2月18日（金）に愛知県産のいちご1,520パックを寄贈しました。

新米の寄贈は、平成23年度から取り組んでおり、これまでに96トンを寄贈しています。また、果物の寄贈は、平成28年度から実施しており、

ブドウ、いちご、メロン、ポンカン、スイカ、柿および梨を寄贈しています。



石黒経営管理委員会会長（左から2人目）より中部善意銀行岡田理事長（右から1人目）へ新米を贈呈



石黒経営管理委員会会長（左から2人目）より中部善意銀行岡田理事長（右から4人目）へ目録およびメロンを贈呈



石黒経営管理委員会会長（左から3人目）より中部善意銀行岡田理事長（右から2人目）へ目録およびいちごを贈呈

## 老人福祉施設などへ車椅子等の寄贈

協同組合組織の地域金融機関として、高齢者が誰にも気がねなく、安心して暮らせる豊かな地域を築き上げていくことに役立てていただくため、県下の老人福祉施設へ車椅子等の福祉機器を寄贈しました。

- ① 愛知県社会福祉協議会が選定した老人福祉施設4施設に、ティルト式リクライニング車椅子16台を寄贈しました。



石黒経営管理委員会会長(右から2人目)より県社会福祉協議会吉田専務理事(左から2人目)へ目録を贈呈

この活動は、平成14年度から取り組んでおり、これまでに328台を寄贈しています。

- ② 高齢者福祉事業に携わるJAに、希望する福祉機器等を寄贈しました。

この活動は、平成14年度から取り組んでおり、これまでに20回寄贈しています。



寄贈したティルト式リクライニング車椅子

## 農業高等学校への農機具の寄贈

愛知県下の農業者の高齢化・減少に伴い農業の担い手が不足するなか、担い手の育成を支援するとともに、県内農業の発展に寄与することを目的として、令和3年12月15日(水)に、新城有教館高等学校へ耕うん機・畝立機を、猿投農林高等学校へ乗用芝刈機およびプレートコンパクターを寄贈しました。

この活動は、愛知県下の農業系高等学校9校を対象に、平成30年度から実施しています。



石黒経営管理委員会会長(左から2人目)より新城有教館高等学校竹下校長(右から2人目)および猿投農林高等学校杉浦校長(右から1人目)へ目録を贈呈

## 団体献血の実施

地域社会の一員として地域医療に貢献するため、令和3年8月27日(金)に事務センター、令和3年9月3日(金)にJ A あいちビルにおいて、愛知県赤十字血液センターの協力のもと、団体献血を実施し、83名の役職員が参加しました。

この活動は、平成18年度から取り組んでおり、これまでに18回、延べ1,647名の役職員が参加しています。



団体献血当日の様子

## 使用済切手の寄贈

使用済切手を、県下の社会福祉の向上に役立てていただくため、「使用済切手保管箱」を全部署へ設置し、収集した使用済切手を中部善意銀行へ寄贈しています。

この活動は、平成18年度から取り組んでおり、これまでに約20キログラムを寄贈しています。



「使用済切手保管箱」と収集した使用済切手

## フードバンクへの食品の寄贈

地域社会の一員として、食品ロスを削減する環境的側面と生活困窮者を支援する福祉的側面を持つフードバンクの活動に貢献するため、令和3年10月4日(月)および令和4年3月10日(木)に、認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ、役職員から提供

された食品や入れ替えに伴う災害備蓄用食品約340個および市場から返品された米360キログラムを寄贈しました。

この活動は、社会貢献活動の一環として令和2年度から実施しています。

## 森林保全活動の実施

農業に不可欠な綺麗な水を育む森林を守るため、愛知県瀬戸市白岩町の瀬戸県有林(ヒノキ人工林2.3ha)において、「特定非営利活動法人穂の国森づくりの会」の協力のもと、除伐、枝打ち、林内の清

掃、役職員への森林整備活動に関する講習等の森林保全活動に平成14年度から取り組んでいます。

この活動は、これまでに39回実施し、延べ1,002名の役職員が参加しています。